



大正10年4月、鳥取高等農業学校が大杣(現三洋電機位置)に開校。写真は昭和6年、高農創立10周年記念のときのもの。(猪子、有田又太郎氏蔵)

鳥取高農開校

大正10年4月

鶴田 憲次

20年余の運動が実る

鳥取高農といえ、いうまでもなくいまの鳥取大学農学部の前身だが、戦前永い間この地方の最高学府だった。

全国的にみても盛岡、鹿児島に続いて三番目の歴史をもつ農林専門の高等教育機関で、この道の天下の名門校と目されていた。田園都市鳥取の文化を象徴するものとして鳥取の一つの顔でもあり、学生さんも市民の間によく親しまれていたものである。

開校したのは大正十年四月十五日、この日農学科四十名、農芸化学科三十名の入学生を迎えて第一回の入学式が行われたが、これは全国各地から応募した三百二十二人の志願者の中から選ばれた合格者である。あまり景気のいい時勢でもなかったし、鳥取という辺境な所に志願者が集まってくるだろうかとという心配もあったが、それ

をふき飛ばすように四倍半を超える学生が応募してきて、みんなを喜ばせた。この日の入学生の中に、のちの鳥取県初代の民選知事西尾愛治さん、のちの鳥大農学部長いま二の丸会の会長さん上田博愛博士の若い顔もあったはずである。

しかしこの学校が鳥取に出現するまでには二十年の歳月と、その間に県市民の容易ならぬ苦勞がつきこまれていた。山陰に高等農林学校をといた声がはじめてあがったのは、明治三十三年というから随分昔のこと、この時は鳥根鳥取両県の代議士が連名で国会に要望書を出している。話の起りから両県の誘致合戦をうちにはらんでいともいえる。

明治から大正の初めにかけて、高農創設の世論はいよいよ高まり、大正二年鳥取出身の奥田義人が文部大臣になるに及んで、話は急速に鳥取よりに進むが、しかし誘致の条件である六十六万円の地元負担は、当時の県や市にとっては全身に重圧を感じるほどの高額だった。必死の募金運動が進められる一方、県議会も市議会も設置の場所などについて内輪もめなど起こさぬよう自粛を申し合わせ、ひたすら学校誘致に心を砕いている。そして最後に鳥根県との合戦にケリをつけたのは、意外にも兵庫県の但馬地区の町村長会の決議だった。「鳥取県に設置してこそ全山陰の発展につながる」というものだが、この思いがけない周辺の援護が力になったようである。

岡田良平文部大臣が佐竹鳥取県知事と呼んで、鳥取高農設立を告げたのは大正七年五月一日だった。(鳥取ユネスコ協会会長)



市制施行90周年
シンボルマーク

90年生がして伸びゆくわが郷土

記念
標語

中央直結の政治とは

先般の統一地方選でも「中央に直結」という言葉がよく使われた。中央に直結というのと、二通りの概念がある。第一は国とのパイプを密にして、国の財源でどしどし仕事をしようとし、それにより積極的な効果を期待する立場。第二は国の行政に依存し過ぎる、とする批判のために使われる場合である。

市政雑感

91



金田裕夫

現在、地方自治制度が確立され三十年余になるが、限られた権限と乏しい財源のわが国の自治体において、残念ながら国の援助なくして何事もやれない。しかし、自治体とし自主的な判断を失ってはならないことはもちろんで、その上で極

基本的基盤である。従い私もあくまで自主的の判断に立つて、物心両面での豊かな市民生活を実現する努力をしている所存である。

重要なことは、まず何が真に市民に必要な仕事であるかどうか判断することであり、次にその財源を確保するため強力に国に働きかけ、国の補助などを活用することが肝要で、私も今日までそのため精いっぱい努力してきた。やるべき仕事をするため国にお百度を踏んで何が悪い。当然のことと思う。国の援助がなく市民の税金だけで福祉をはじめもろもろの仕事をしようにして何ができるか。市民の要請にこたえることはとてもできない。かつて東京都の美濃部さんが国の援助を減らし、単独で仕事をしようとした

ことがあった。それも高度成長で財源の余裕があったときはできたが、成長が止まったら財政破綻を来し、仕事ができな

い実態となった典型的な例がある。中央依存だといった論議はナンセンスである。もちろん今の地方自治体の権限、財源の見直しは必要で、かつ補助行政は根本的に改善すべきだ。画一的な零細補助でなく、自治体の自主的の判断でそれぞれ個性のある仕事ができるようにすべきだ。大平総理もいつている。「権力が中央に集中しているのは健全でない。地方に適当な権限、財源が付与され、国と地方がそれぞれ行財政に責任を持つ体制が望ましい」と。集権と画一から分権と多様へと移行すべきだ。

(市長)

市制90周年記念行事

市制施行九十周年の記念日は十月一日です。記念行事もこの日を中心にメイン行事の「産業まつり」(九月二十七日〜十月三日)もいよいよ開幕です。市民体育館などを会場に、産業と観光展、卸センタ

産業まつり

3会場で多彩な催し

市制九十周年記念展「鳥取市九十年の歩み」(十月一日〜十四日)ととも、記念行事のメインである「産業まつり」は九月二十七日(木)から十月三日(水)まで、市民体育館

市民体育館を中心、姉妹都市(釧路、姫路)観光物産展などを開催。このほか、九月には芸術文化祭開幕行事「民謡をあなたに」(十三日)、市民文化祭(十五日から)、公開番組収録(十八日、二十一日)、市小學校連合体育祭(二十七日)、鳥取商店街連合会大売り出し(二十九日〜十月五日)が行われます。そして、十月には記念式典、市制九十周年記念展「鳥取市九十年の歩み」などを開催します。

市民体育館を中心、姉妹都市(釧路、姫路)観光物産展などを開催。このほか、九月には芸術文化祭開幕行事「民謡をあなたに」(十三日)、市民文化祭(十五日から)、公開番組収録(十八日、二十一日)、市小學校連合体育祭(二十七日)、鳥取商店街連合会大売り出し(二十九日〜十月五日)が行われます。そして、十月には記念式典、市制九十周年記念展「鳥取市九十年の歩み」などを開催します。

市民体育館を中心、姉妹都市(釧路、姫路)観光物産展などを開催。このほか、九月には芸術文化祭開幕行事「民謡をあなたに」(十三日)、市民文化祭(十五日から)、公開番組収録(十八日、二十一日)、市小學校連合体育祭(二十七日)、鳥取商店街連合会大売り出し(二十九日〜十月五日)が行われます。そして、十月には記念式典、市制九十周年記念展「鳥取市九十年の歩み」などを開催します。

産業と観光展

9月29日〜10月3日

午前9時〜午後5時

市民体育館

図表、写真、スライド映写など

- ①企業案内コーナー
- ②企業十八社の概要紹介と主要商店など展示
- ③工芸菓子展
- ④市菓子パン製造組合による工芸菓子展示
- ⑤菓子も即売
- ⑥家具見本市
- ⑦県東部家具工業組合加盟十社が二百点出品
- ⑧家具見本市
- ⑨鳥取建具組合加盟三十社が五十点出品
- ⑩米消費拡大推進コーナー
- ⑪米製品の展示
- ⑫農林水産物展示即売コーナー
- ⑬鳥取農業高校コーナー
- ⑭同校の加工品展示即売
- ⑮県産酒コーナー
- ⑯県産

メインの「産業まつり」開幕

27日

酒鳥取地区協議会が県産酒を展示、即売⑨全国観光ホスター展(百枚)⑩観光写真展⑪市内観光地案内電照板⑫土産品展示コーナー⑬特設観光案内所

なお、観光写真展に展示する写真を現在募集中(締め切りは九月十日)です。応募方法は本紙十四頁に掲載しています。

苗木プレゼント

9月29日～10月1日
午前10時から

市民体育館正面玄関前
松、サザンカなどを毎日、先着三百人にプレゼントします。

青空市場

9月30日
午前9時開始

市民体育館横広場
市農協青年部、市農業青年協議会の若者たちが、新鮮な野菜、果物などを市価より格安に販売。

卸センター特別セール

9月29日、30日

午前10時～午後3時
鳥取卸センター(安長)
鳥取卸センター内の三十五社が

事務用機器、事務用品、家庭用電気製品、食料品、日用品などを展示、即売します。

姉妹都市観光物産展

9月27日～10月2日
午前10時～午後6時

鳥取大丸4階催し場
釧路、姫路の両姉妹都市の観光物産展です。釧路コーナーには、市街地、湿原などの写真パネルや、

タンチョウヅル(はく製)、マリモなどを展示。海産物を中心に特産品を展示、即売。姫路コーナーには、姫路城の写真パネル、模型、しやちほこなどを展示。特産品の展示、即売も行います。

鳥取商店街連合会 記念大売り出し

29日～10月5日

記念式典

来月1日、盛大に

市制施行九十周年記念式典は、施行日の十月一日(月)午前十時から、市民会館ホールに於いて、先着千人が参加して盛大に行われます。

招待者は、市政顧問、前市三役、地元選出の国会議員と県議会議員、市議会議員、県下の市長と市議会議長、釧路・姫路両姉妹都市民合唱団の「市民歌」合唱、修立小児童八十人による楽器演奏と続き、正午ごろに終了の予定です。

18日と22日

公開番組収録

「スターに挑戦」など

日本海テレビで毎週金曜日、午後七時から三十分間、放映している「歌まね振りまね 新・スターに挑戦」の公開録画は、九月十八日(火)、市民会館ホールで行われます。ゲストスターは、西川峰子、桜田淳子、坂口純子、金田たつえ、小野由紀子、牧村三枝子、渋谷鉄平らが予定されており、二週分集録します。放映日は十月十九日と二十六日(予定)。

今月から12月まで

市民文化祭

文化サークル
50団体参加

市教委と市文化団体協議会(藤間忠顕会長)は九月から十二月まで、「市民文化祭」を開きます。市民の各種文化サークル五十団体余りが参加します。九月と十月初めの催しは次の通り。

【鳥取演劇集団第二十六回定期公演「真実ごっこ」】九月十五日(土)午後一時、六時三十分の二回公演。会場は市民会館ホール。入場料は大人八百円、中・高校生五百円。

【市民アトリエ群青展】九月三十日(日)から十月五日(金)まで。四十点余りの洋画を展示。会場は福祉文化会館三階。無料。

【鳥取俳画草樹会展】十月七日(日)から十日(祝)まで。百点余りの俳画を展示。会場は福祉文化会館三階。無料。

市役所玄関に掲げられている市制九十周年記念の懸垂幕



県芸術文化祭開幕行事

民謡をあなたに

因幡かさ踊りも参加

第三回県芸術文化祭の開幕行事として開かれる「民謡をあなたに」は、九月十三日(木)午後六時三十分開会(開場六時)で、八時三十分まで市民会館ホールで開催されます。

NHKテレビ番組「民謡」のレギュラー出演者である原田直之と神谷美和子が全

国民謡(八曲程度)を歌います。また、原田の「きなんせ節」に合わせて、鳥取銀行しゃんしゃんかさ踊り保存会の十五人が踊り、同じく原田の「貝殻節」で賀露漁協婦人部の七人が踊ります。横枕か

小学校連合体育祭

27日 5、6年生が参加

市小学校連合体育祭は、市内二十六校から五、六年生およそ三千九百人が参加して、九月二十七日(木)午前九時三十分から午後四時三十分まで、総合グラウンドのサ

さ踊り保存会六人も「因幡大津絵」で因幡かさ踊りを披露します。入場料は指定席六百円、自由席四百円。入場券は市内のレコード店、市教委社会教育課文化係で求めてください。

来月1日~14日

90周年記念展

市の歩みを紹介

鳥取市九十周年の歩みを紹介する市制九十周年記念展「鳥取市九十周年の歩み」は、十月一日(月)から十四日(日)までの十四日間、福祉文化会館四、五階で開催します。図表、写真、諸資料(埋蔵文化財、昔の生活道具など)を展示し、①鳥取市の誕生と発展②災害と鳥取市の変容③教育の発展④交通・通信の発達⑤街並みと風俗⑥自然と歴史環境⑦産業の発展⑧市

市報特別号発行

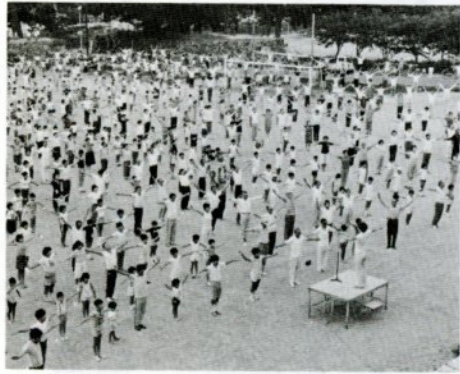
来月1日に

「とつとり市報」の記念特別号(十六ページ)は十月一日に発行します。年表、写真、イラストなどで九十周年の歩みを紹介する「鳥取九十年史」を中心に、①小、中学生の作文「鳥取市将来の夢」②人口の推移、下水道整備の状況などをグラフ、図表で紹介する「目でみる鳥取市」③主な施設を紹介する「イラスト地図」などを掲載する予定です。

90周年行事にぎわわう

夏休みに入ってから市制九十周年行事は、市民ラジオ体操会(七月二十二日)、九十年美術遺作展(八月七日~二十六日)、カーニバル79(同十四日)、しゃんしゃん祭(同十五、十六日)、中学校プラスチック演奏会(同二十日)と相次いで行われました。

2千人の市民が集まった初の「市民ラジオ体操会」(西高グラウンドで)



市民ラジオ体操会に2000人

早朝のさわやかな空気を吸って体操をしよう、と市教委と市民総スポーツ運動推進委員会は、夏休みに入ってから初めての日曜日の七月二十二日、朝六時三十分から初の「市民ラジオ体操会」を開きました。会場の西高グラウンドには、近くの子供会の小、中学生や家族連れ、お年寄りら市民およそ二千人が集まり、県体育保健課職員の本淑恵さんと西高音体部部長八人の指導でラジオ体操に心地よい汗を流しました。



中学校プラスチックバンド部

樗谿公園で演奏会

市中学校プラスチックバンド演奏会は西、南両中学校のプラスチックバンド部

さわやかな演奏を披露するプラスチックバンド部の生徒たち(樗谿公園で)が参加して、八月二十日、午後五時三十分から、樗谿公園・梅鯉庵前で開かれ、家族連れらおよそ三百人の市民は熱心な演奏に盛んな拍手を送っていました。西中プラスチックバンド部三十五人は「ヤングマン」「イエスタデー」など、また南中プラスチックバンド部四十人は「ラストコンサート」「オリイブの首飾り」など、それぞれ三曲ずつ演奏した後、合同で「海兵隊」「リットニア」「宇宙戦艦ヤマト」の三曲を演奏、息の合った、さわやかな演奏を披露しました。

しゃんしゃん祭に16万人

大がさやしゃんしゃん娘も登場

祭りのシンボルとして日本のしゃんしゃん大がさが登場した、十五回目のしゃんしゃん祭は、史上最高の四十一連、三千五百人の踊り子の参加で、八月十五、十六日の二日間、華々しく催されました。十五日のしゃんしゃんイブでは、市民スポーツ広場で恒例の花火大会が行われ、観客十万人が炎の供宴



一斉踊りには史上最高の41連 3500人の踊り子が参加

パレードする小学校鼓笛隊



若桜橋上にそろったシンボルの大がさ

を楽しんだほか、ことし新たにしゃんしゃん娘コンテストも行われ、一次審査で選考された美女十人が最終審査を受けました。その結果、ミスしゃんしゃん娘に国府町町屋、銀行員、森本範子さん(二〇)が、準ミスしゃんしゃん娘に吉成、銀行員、月岡恵子さん(二〇)と寿町、会社員、中谷幸恵さん(二〇)の二人がそれぞれ選ばれました。

による鼓笛隊を中心に、しゃんしゃん娘三人も加わり、遷喬小グランド若桜街道、智頭街道のコースで市中パレード(サンライトしゃんしゃん)を行い、祭りのムードを一層盛り上げていました。そして、三時ごろからは歩行者広場となった若桜街道と本通りでは、芸能自慢大会広場、うたと演芸の広場、若者の広場が設けられ、横枕の因幡かき踊り、鉦路鳥取かき踊り保存会のかき踊り、姫路市有志の播州音頭、三朝町有志の白狼

太鼓、歌謡ショー、ロックバンド演奏などが行われました。五時からは、祭りのシンボルである二本の大がさ(直径三・二メートル、高さ三・五メートル)を、十三日から設置していた鳥取駅前(雄がさ)と市役所前(雌がさ)から若桜橋特設舞台横に移し、みそぎの慈雨

の神事が行われ、六時からは一斉かき踊り(ムーンライトしゃんしゃん)踊り子三千五百人は、本通り若桜街道、片原通り、智頭街道、昭和南通りのコースで、九時まで、シャン、シャン、シャンと鈴の音を響かせて、華やかな祭り絵巻を繰り広げました。



「カーニバル79」でフォーク演奏を楽しむ若者たち

若者2万人が楽しむ

＝カーニバル79＝

主催したのは、若者三十人余りでつくっている第五回カーニバルとっとり実行委員会(田村昌計委員長)。午後三時からカーニバルムードを盛り上げ、多くの若者に参加を呼びかけるため、シンボル六個で、市役所から鳥取駅前まで市中パレードを行い、四時三十分開幕。リヤカーを人力車に見立てた人力車レース、レモン、レタス、ケーキ、ビール、の早飲み大会、大声を競う大声大会、カラオケのど自慢大会のほか、フォークコンサート、ミス・カーニバルの選出などが行われ、ファイナレには参加者全員がロックリズムに乗って踊り、若さを爆発させていました。

「青春の熱い炎を燃やそう」と、「カーニバル79」は八月十四日、市民スポーツ広場で開かれ、夜十時近くまで若者二万人は、真夏の祭典を楽しんでいました。

伊谷賢蔵ら16人の作品展示

90年美術遺作展

九十年美術遺作展は八月七日から二十六日までの二十日間、県立博物館で開催。明治二十二年以降に鳥取市で活躍した作家十六人の作品三十四点を展示、ふだん鑑賞する機会のない個人所蔵品が多く、

めつたにないことだけに、会場に訪れた大勢の市民は熱心に郷土作家の「美の世界」を味わっていました。

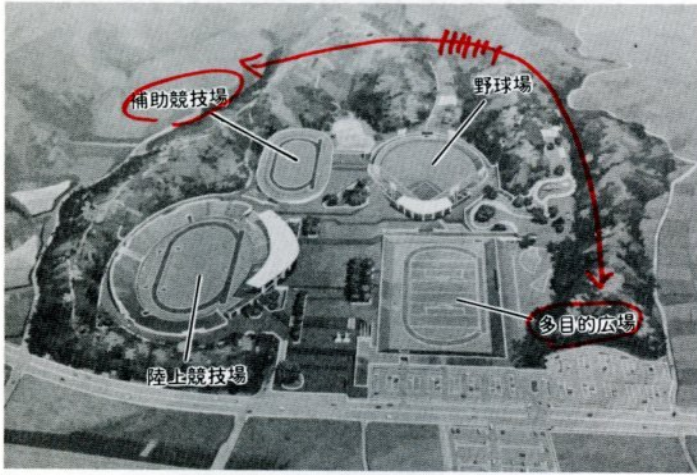
展示作品は、洋画で遠藤董「鳥取城」、久米福衛「冬の山」、藤井楨

三郎「佛」、安岡信義「蓮」、池本利美「弘法麦とうた」、松田晃八「砂丘風景」、川上貞夫「少女」、恩田孝徳「雪の谷川岳」、伊谷賢蔵「静物」など二十一点、日本画で菅橋彦「神倉秋景」、八百谷冷泉「さくら」、毛利秋晃「多鯰ヶ池」、森田光達「双鯉」、中島菜刀「芭蕉庵詩仙堂」など八点、彫刻で国米泰石「弥勒菩薩」、長谷川塊記「仔馬」など五点。

布勢総合運動公園を整備

60年国体へ 陸上競技場、野球場など

六十年鳥取国体秋季大会の会場となる鳥取都市計画公園「布勢総合運動公園」と同連絡道路ともなる都市計画道路停車場布勢線(変更)は、七月二十五日に開かれた県都市計画地方審議会(鈴木実会長)で認められ、建設大臣の認可を得て八月三日、都市計画決定されました。布勢総合運動公園は、県が事業主体となり六十年完成を目指して、今秋ごろから用地買収などに入ることに、現在整備中の停車場布勢線も全線完成は六十年の予定です。



布勢総合運動公園は、今の市総合グラウンド(野球場、サブグラウンド)八・五畝を拡大、整備しようというもので、布勢、桂見、大柵、里仁地区にまたがり、公園区域は五十一畝。このうち三十一畝部分を国体までに整備する予定で、スポーツ施設としては四施設を整備します。陸上競技場は第一種公認競技場で、四百畝の全天候型のト

県が都市計画決定

トラックを備え、三万人の観客収容能力を持つており、広さは三万八千方畝。補助競技場は二百五十畝のトラックを備えており、広さは一万一千平方畝。野球場は硬式



野球の公式戦ができるもので、本塁からバックスクリーンまで百二十畝、本塁から両翼まで各九十一畝。内野席六千人、外野席四千人の合わせて一万人の観客収容能力があり、広さは二万四千平方畝。球技場はサッカー、ラグビーなどに利用できる多目的広場となり、三千人の観客収容能力があり、広さは一万九千平方畝。このほか、



路線の一部変更した、整備中の停車場布勢線。左手前が旧棒鼻路。向こうは工事中の新千代橋

停車場布勢線 新千代橋は来年夏完成

このほど、その道路計画が一部変更された都市計画道路停車場布勢線(延長四千九百九十畝)は、現在、駅前区画整理や街路事業などにより整備が進められています。同計画道路の一部である新千代橋(千代橋上流約三百五十畝)は、

五十一年十二月の起工以来、二年半余りを経過、下部工は終わり、現在、上部工にかかっています。五十五年の夏にも完成の予定で、取り付け道路もかなり整備されています。新千代橋が完成すれば全長四百二十六畝と、境水道大橋(全長四百三十三畝)に次ぐ県下二番目の長大橋となります。そして、この道路は五十六年度中に、賀露の方から建設省が工事を進めている鳥取南バイパス(国道9号バイパス―千代水地区―古海団地―国道53号)と徳尾地内で結ばれることになり、千代橋周辺の交通渋滞解消に大きな役割を果たすこととなります。

停車場布勢線も 路線を一部変更

周辺には六万六千方畝の園路広場や、修景施設、休憩所、休養施設、便所、展望台、駐車場などの施設が設けられます。これらは本年度から六十年までの七カ年計画で整備されることになり、総事業費は約六十億円。

一方、鳥取駅から同運動公園への連絡道ともなる都市計画道路停車場布勢線は、一部を主要地方道鳥取鹿野倉吉線(吉岡街道)を拡幅(幅員十六畝)する計画でしたが、交通量の増大などで計画を変更。徳尾の都市計画道路正蓮寺晩稲線(鳥取南バイパス)から運動公園北側に沿って布勢の都市計画道路飛行場布勢線まで付け替えるもので、幅員二十五畝の四車線となり、延長は二千七百畝。全線延長は四千九百九十畝。完成は六十年の予定です。

羽田空港まで2時間

東京直行便が就航

1日1往復 羽田発 午前11時05分
鳥取発 午後1時30分

鳥取―東京直行便の就航を記念してテープカットする安西全日空社長、金田市長、平林県知事、米原会頭（写真右から、鳥取空港で）

市民が待ち望んでいた県営鳥取空港の定期旅客空路・東京直行便が八月十日に就航、鳥取―東京が二時間で結ばれることになりました。快晴に恵まれた十日、東京・羽



記念式典は一時十分から、平林



羽田空港からの第1便

田空港を午前十一時五分に飛び立った全日空のYS11型機（六十人乗り）の第一便は、予定到着時刻の午後一時五分に鳥取空港滑走路に降り立ちました。晴れの第一便乗客となったのは古井法相ら五十人（幼児四人を含む）で、「祝鳥取―東京直行便就航」と描かれた祝賀記念門をくぐり、鳥取に記念の第一歩を記しました。

盛んな姉妹都市交流

スポーツ、祭りなど通して

釧路と姫路

姉妹都市釧路、姫路両市との交流は、縁組以来、盛んに行われており、この夏にはスポーツ交歓会、祭りなどを通して両市との親善を深めました。

釧路市との縁組は三十九年三月、これまでにも毎年加、北海道民謡「ソーラン節」な



3回目を迎えた姫路市とのスポーツ交歓会

産と観光展が開かれています。今回のじゃんじゃん祭には、釧路鳥取かさ踊り保存会の三十五人が参加、北海道民謡「ソーラン節」な近いこともあって交流は盛んで、姫路お城まつりには県環境衛生同業組合鳥取支部や因幡かさ踊り保存会が参加し、姫路市綱干播州音頭保存会もじゃんじゃん祭に参加しました。四十七年からは、中学生交歓キャンプ大会も毎年、交互に開かれており、ことし（八月二、三日開催）で九回目。毎回、五十人の中学三年生が、参加しています。また、五十二年八月からはスポーツ交歓会も開催、毎回、競技種目を変えて行われており、五日に三回目の大会が開かれ、バスケットボール、相撲、サッカーなど四種目で熱戦を繰り広げました。

鳥取発東京行第1便の乗客ら



（鳥取空港で）

知事も鈴木知事あてのメッセージを大塔峯機長に託しました。最後に平林知事、米原会頭、金田市長と安西正道全日空社長の四人が記念のテープカットを行い、鳥取―東京直行便就航を祝いました。鳥取―東京直行便は一日一往復で、羽田発午前十一時五分―鳥取着午後一時五分で所要時間は二時間。折り返しは、鳥取発午後一時三十分―羽田着同三時三十五分で所要時間は二時間五分となっています。この所要時間は、国鉄で新幹線接続の特急利用の七時間、寝台特急「出雲」利用の十一時間に比べると、グッと短縮されています。料金は片道大人一万五千円、小人七千五百五十円。



5年ぶりに来鳥、じゃんじゃん祭に参加した釧路鳥取かさ踊り保存会のみなさん（八月十六日、若桜街道で）

どに合わせでかさ踊りを披露、一斉踊りでも見事な踊りっぷりに沿道の市民は盛んな拍手を送っていました。同保存会の来鳥は四十二年、四十九年に次いで三回目のものです。

5日に総合防災訓練

地震を想定 初めて市独自で

主会場は市民スポーツ広場



去年9月8日の総合防災訓練で初期消火訓練をする主婦ら(今町1丁目)

市は、九月五日(水)の午前十時から正午までの二時間、初めて市独自で総合防災訓練を実施します。地震災害を想定して行うもので、避難、初期消火などの訓練を実施。四十九年九月五日と去年九月八日に実施した鳥取地区総合防災訓練(県と共催)に次ぐ三回目の総合的な防災訓練となります。

この訓練では、地震災害時の地域防災体制の確立を期するとともに、一般家庭、学校、事業所などでも出火防止、安全確保の初動措置訓練を実施してもらい、市民に自主防災意識を高めてもらうため、市民スポーツ広場、鳥

訓練は午前10時から

訓練内容は次の通りです。

【第一会場】市民スポーツ広場

- ①現地災害対策本部運用(十時～正午) Ⅱ本部設置、航空偵察など
- ②情報連絡(同) Ⅱ避難、被害の状

況を本部に報告③避難、避難誘導(十時～同二十五分) Ⅱ城北、富桑、明徳の三小学校の高学年児童と富桑、明徳両地区住民が避難④初期消火(十一時～正午) Ⅱ建物、油、プロパンガス、油貯蔵タンク各火災の初期消火⑤給水、炊き出し(十時～正午) Ⅱ給水車による給水、かま、コンロ使用の主食炊飯など⑥医療救護(同) Ⅱ救護所設置、負傷者の応急救護⑦応急復旧(十時十分～正午) Ⅱ避難用公衆電話機の設置、携帯発電機による応急送電、ガス管復旧、水道管復旧。

Ⅱ鉄道高架上で脱線転覆した列車、の応急復旧③自動車火災消火(十時三十分～十一時十分) Ⅱ火災炎上した自動車を化学車一台が出動、消火。後続バス乗客の避難誘導④障害物除去(十時三十分～十一時三十分) Ⅱ炎上した自動車の除去。倒壊した家屋とブロックべいの除去。

【第三会場】福祉文化会館 救助、救急(十時～十一時三十分) Ⅱ福祉文化会館五階からの出火を想定。初期消火、救助袋を使った避難、消防車による消火、はしこ車による救助など。

【第四会場】各町内会、防災会、学校、幼稚園、保育所、事業所などの指定避難場所 出火防止と安全確保訓練と避難、誘導訓練を自主的に実施。

【第二会場】鳥取駅前旧棒鼻踏切付近 ①救助、救急(十時十分～同三十分) Ⅱスノーケル車による鉄道高架上の列車乗客救出②応急復旧(十時十分～十一時十分)

27町内で結成

市民自主防災会

地震、火災などの災害に備えて、各町内で結成している市民自主防災組織は、これまでに二十七町内で結成されています。しかし、特に防災組織が必要とされる住宅の密集化している町内でもかなりの町内が未結成のため、市は結成促進の呼びかけをするとともに、説明会にも出向いています。

最近では、四月に湯所町二丁目防災会(兼田信太郎会長、三百五十五世帯)と桜谷団地防災会(吉村昭会長、百四十二世帯)、六月に吉方四区防災会(岡本賢一会長、四百五十世帯)の三防災会が新たに結成されています。



25カ所に避難案内板 住宅密集地区中心に

市は、地震など大災害が起きた場合の避難場所として、各学校グラウンドや都市公園を中心に八十九カ所の避難場所を指定しています。これらの避難場所は、本紙八月号でも紹介していますが、このほど避難場所を明示した防災用避難案内板二十五枚をつくり、馬場町、立川町二丁目、寿町、元町、行徳、今町一丁目、末広温泉町など住宅密集地区に設置して、市民のみなさんに避難場所を認識してもらうことにしています。

この案内板は、縦〇・九五メートル、横一・四五メートルの大きさのもので、高さは二・四五メートル。周辺の避難場所数を緑色で明示、下部には赤色で「グラッ」ときたらまず火の仕末」と地震の心得を書き込み、注意を呼びかけています。

この案内板は、五十五年度にも二十五カ所に設置する計画です。



九月十五日は「敬老の日」。また、この日から二十一日までは老人福祉週間です。わが国は世界でもトップクラスの長寿国で、五十三年十月一日現

15~21日

老人福祉週間に寄せて

在の六十五歳以上のお年寄りは九百九十二万人と、総人口一億一千五百七十七万人に対して八・六割を占めており、この割合は年々増えていくものと予想されています。私たち一人一人が豊かな老後を過ごすためにはどうしたらよいか。お年寄り二人に「老人問題」について書いてもらいました。

奉仕活動で活躍する老人に



森本 直蔵 (71) ラグ副会長 老人会 市連

人はだれしも年をとりたくない。が、人はいやが応でも年とって老人となるのである。老人と呼ばれて、嫌ってみても、やはり体力の衰えに逆らうわけにはいかない。自動的に老人になっていくのが、世の常である。
日本人の平均寿命(五十三年)は男七二・九七歳、女七八・三三歳と、世界の上位を占めるに至り、また、老人福祉法が制定されてから十五周年を迎えることは大変喜ばしいことである。しかし、こう

なりと老人といえども安閑と毎日を送っているわけにはいかなくなる。老人は「若返る」必要に迫られる。六十歳定年制になるのも程遠くない状況だ。従って、これまでのように年金、雇用、医療などの老人福祉の恩恵のみに頼りすぎるばかりでなく、いわゆる被保護、被援助的な考えのみに陥らず、老人自身の健康保持はもちろんのことだが、進んで社会参加への積極的な活動が考えられなければならないと思う。もとより老人は過去の人生の功労者であり、尊敬されるべき先達者であるが、かと言って半人前的な没社会人となってしまうのは、無残というべきである。新しい老人とは、常に時勢を知り、絶えず新時代に生きること

あり、また後進者へのよき相談相手となることである。そして日本社会の伝統的美風を残し、さらに新しい社会への参加に努める。これが老人の生きがいにもつながることになる。生長力を失った樹木は枯れる。老人といえども生長力を失ってはならない。精神的若

さを見失わず、家庭、地域社会に信頼されながら社会連帯の中において共同互恵をモットーに、多くの人々との交流の中で友を求め友と話し合い、ボランティア活動の出来る老人こそ、真の生きがいをもち、幸福であるのではあるまいか。
(吉方町一丁目)

福祉制度、改善の時機



小谷 治子 (66) 主婦

近ごろ、新聞の家庭欄などに老人問題を扱う記事のスペースが多くなり、テレビでも「敬老の日」行事のニュースやレポートだけでなく、老人の身辺や心境を扱ったドラマなどが増えてきている。年ごとに高齢化する社会の現状に心が深まってきたせいであろう。
時折、内科や整形外科の病院通いをして老人患者の多いのに驚く。待合室の朝は、井戸端会議といったら語弊があるが、グチりながらも楽しげなムードをかもし出している。昭和十年、私が秋里に嫁に来たころは、町のT医院のちようちんをつけた人力車が村の道を通ると、「あんねのばあさんも永くな

さを見失わず、家庭、地域社会に信頼されながら社会連帯の中において共同互恵をモットーに、多くの人々との交流の中で友を求め友と話し合い、ボランティア活動の出来る老人こそ、真の生きがいをもち、幸福であるのではあるまいか。
(吉方町一丁目)

お年寄りが腕競う

大樹荘で囲碁 将棋大会

八月十七日、湖山池湖畔の大樹荘で第十二回お年寄り囲碁・将棋大会を開きました。これは、老人

の親ぶくをはかるのがねらいです。参加者は地区予選を勝ち抜いて

来た精鋭ぞろいで、囲碁、将棋の部とも四十人ずつ。なごやかなふん囲気の中で熱戦を繰り広げました。各部の優勝者は次のみ

【囲碁の部】有段者 大谷巖(賀露) 無段者 玉野潔(豊実) 【将棋の部】有段者 前田利治(稲葉山) 無段者 池内巖(日進)

この事業では、スポーツ大会(十月)、芸能発表会(十一月)も計画。

市民自治学園を開設

60人受講 行財政、歴史など学ぶ

市民のみならず、市民自治に関する意識を高めてもらおう、と新しく設けた市民自治学園

市民自治学園開講式で記念講演する
金田市長
(久松会館で)

市民のみならず、市民自治に関する意識を高めてもらおう、と新しく設けた市民自治学園(自治講座)には、六十人の市民から受講申し込みがあり、七月三十日、久松会館(北中隣)で開講式を行いました。



第一回の講座は、山中昭栄県地方課長による「地方自治について」

来年三月まで、十五回にわたり開講する計画です。

開講式では、金田市長が「地方の時代とまちづくり」と題して記念講演を行い、欧米諸国と日本の地方自治制度の歩みとその違いを述べた後、「現在、地方の時代」と言われ、地方の見直しが行われている。個性のある街づくりを進める上で、国から地方への権限の委譲もある程度は必要だ。鳥取も若者が住みたくなくなるような、魅力ある都市機能が整備された都市

い人でも、自由に受講できますので、気軽においでください。

- ①九月四日(火) 市の行財政(宮本清美市総務部長)
- ②十月五日(金) 私たちの福祉(大住要治朗市福祉部長)
- ③十月十六日(火) 私たちの街づくり(宮本博己市建設部長)
- ④十一月二日(金) 鳥取市の歴史(岩永実元鳥取大教授)
- ⑤十一月十五日(木) 生活とゴミ(藤原正市下水環境部長)
- ⑥十二月四日(火) 鳥取市の教育と文化(濱本愿市教育長)
- ⑦十二月十四日(金) 私たちの健康(岡田紘司市立病院内科医長)
- ⑧五十五年一月八日(火) 鳥取市の産業(田中敏夫市商工農林部長)
- ⑨一月十七日(木)

- ⑩二月五日(火) 潤いのある生活環境(遠山正瑛元鳥取大教授)
- ⑪二月十三日(水) 私たちの暮らしと下水(藤原市下水環境部長)
- ⑫三月三日(月) 市民生活と安全・防災(西田良平鳥取大助教授)
- ⑬三月七日(金) 上水道と治水(宮本市建設部長、藤縄茂市水道局長)
- ⑭三月十七日(金) 市民生活と自治活動(船越堅一市自治連合会会長)
- ⑮四月九日(土) 午前九時三十分から十一時四十分まで、会場は①が福祉文化会館三階、②、③が同会館五階、④が久松会館、⑤⑬は午後一時三十分から三時四十分まで、会場は⑤、⑥が久松会館、⑦⑬が福祉文化会館五階。

「住民参加の街づくりを」

市政懇話会が協議

ことし三回目の市政懇話会が八月六、七日の二日間、福祉文化会館で開かれました。今回は婦人委員で構成する第三部会の希望もあり第一、第三部会が合同で教育、福祉、文化問題を協議。また、第二部会は前回に続き産業、環境、建設問題について意見を交換しました。主な協議内容は次のとおり。

▽国や地方公共団体を相手にした訴訟が多いが、あらゆる角度から行政を総点検して万全の備えをすべきだ▽下水終末処理からの汚

泥を肥料としたり、ゴミを紙やビン、カンに選別して資源の再利用を積極的にすすめてはどうか▽街路緑化を行う場合は、植樹の段階で住民に樹木の管理を呼びかけることが必要だ▽地域は人の宝庫であり様々な職業の人が住んでいる。新しいコミュニティをつくらうとする場合は、これらの人で「町づくり推進委員会」をつくってはどうか▽中国、四国地方に国際空港が一方所もない。鳥取県に設置するよう将来的に検討すべきだ▽

東京の企業情報収集

20万都市推進の

専門委員に3氏

二十万都市実現のためには、若い人たちが定着する働き場所の確保が大切であり、このための施策を積極的に進めよう、と二十万都市推進専門委員に三人を委嘱し、七月十八日に東京で合同の会合を開きました。

委員は、吉田達男地域振興整備公団監事、金秀太郎日本開発銀行第三部次長、飯島貞一日本立地センター常務理事の東京在住の三人。会合では、金田市長が「雇用の場がないという問題をどう打開するかは市政の一つの課題。そのため情報は教えてほしい」と依頼、協力を求めました。今後、委員から随時、情報を流してもらおうほか、市長らが上京の際は、訪問したりして話し合うことにしています。

来年3月まで開講

三回目以降の講座日程は次の通りです。受講申し込みをしていな

「交通非常事態」を宣言

区内で死亡事故相次ぐ

市と鳥取警察署、交通安全協会は、八月二日、明治、豊実両地区に「交通非常事態宣言」を発令しました。

これは、ことしに入って八月一日現在、鳥取警察署管内で起きた交通死亡事故七件のうち四件が両地区で発生したためです。

明治 豊実

死亡事故があったのは、一月十六日（下段人口三差路）、五月二十五日（徳尾三差路）、六月十五日（宮谷）、八月一日（槇原）の四件で、出合い頭衝突、前方確認不注意などの原因によるものです。

このため八月六日、市、鳥取警察署をはじめ建設省鳥取工事事務



交通事故多発危険箇所の調査をする鳥取警察署員ら

所、県鳥取土木出張所、鳥取交通安全協会明治、豊実両支部、明治、豊実両地区の関係者十九人が、明治、豊実両地区の交通事故多発危険箇所の調査、点検を実施。カーブミラー、横断歩道、道路標識の新設が必要な箇所などを確認、できるものから早急に措置するよう話し合いました。また、両地区全世帯には交通安全を訴えるチラシを配布するとともに、地区内には「交通非常事態宣言発令」の看板を掲げて、地区住民はもとより、地区内を通るドライバーにも交通安全を訴えています。



安い野菜をあっせん

市消団連の「青空市場」

「安い野菜はいかが」と、市消費者団体連絡協議会（小谷名香会長）は、恒例となった「青空市場」を八月五日に開きました。写真。生産農家の余った野菜類を公設市場の卸売価格であ

つせんしているもので、値段も市価に比べてかなり格安なため、毎回、市民には大好評です。出荷された野菜類は、ネギ、サツマイモ、タマネギ、豆類、トマト、ピーマン、ナス、カボチャ、キャベツなど十数あり。百人ほどの主婦らが待つ中、午前七時に売り出しを始めた、一時間半ほどで全部売り切れの大盛況で、およそ五百人の買い物客がつけかけました。

国際児童年と市制九十周年を記念して、七月二十二日、砂丘こども園で初めての「市子供会大会」が開かれました。参加したのは、三百七十一の子供会から小学四年生以上のおよそ一千二百人で、ゲームや工作、踊りを通して、交流を深めました。

市社会福祉協議会、市子供会指導者連絡協議会、青少年育成市民会議など十三団体が主催、子供会の会員と指導者が集まって、相互の交流を深めて、子供会の育成強化と子供たちの健全育成を図るため、開いたもので、全体ゲームをしたり、三つのグループに分かれて合唱したり、てるてる坊主を作ったり、楽しい一日を送りました。

津ノ井青年団が結成1年

記念に網干青年団(姫路)訪問

七月八日で、結成一周年を迎えた津ノ井青年団(福田美津留団長)は、これを記念してさらに団活動の充実を図ろう、と七月二十一日、二十二日の二日間、青年団活動の活発な姫路市網干青年団(東口靖幸団長、団員二百人)と交流会を開き、郷土芸能交歓会や懇談会で親ぼくを深めました。

まず、津ノ井青年団が因幡かき踊りを披露、近くの住民ら五百人余りも見物に訪れており、盛んな拍手を受けました。一方、網干青年団四十人は、地区住民ら六十人とともに播州音頭を踊るなど、九時半ごろまでなごやかな交歓会を繰り広げました。この後、一時間余り、両青年団の活動状況を話し合い、意見交換を行いました。翌二十二日には姫路城、姫路

市民会館を見学。津ノ井青年団は現在、団員五十人。最初に取り組んだ活動は、郷土芸能である因幡かき踊りの伝承です。十年ほど前から途絶えていた津ノ井かき踊り保存会を復活させるのが目的で、去年夏から毎週火曜日の夜、十人ほどの団員が二時間余りの練習を積み重ねています。八月からは広岡地区に伝わる手踊りの練習にも入っており、地区の敬老会などで発表する計画です。

ゲームなどで交流

初の市子供会大会

区のマッチ工場を見学した後、午後七時過ぎから同公民館広場で郷土芸能交歓会

網干青年団の活動状況を話し合い、意見交換を行いました。翌二十二日には姫路城、姫路

区内のマッチ工場を見学した後、午後七時過ぎから同公民館広場で郷土芸能交歓会

(敬称略)

公園愛護会が連合会を結成

子供たちと公園の手入れも

市街地を中心に四十三カ所ある児童公園の維持管理をしている各公園愛護会が集まり、このほど新しく市公園愛護会連合会（会長 岡野泰浜 公園愛護会会長）を設立。公園愛護デーを設けたり、公園管理優秀愛護会の表彰などを行い、子供たちが楽しく利用できる

公園にするよう、積極的な活動を進めていくことにしています。愛護デーは毎月一回、各愛護会ごとに設定して、子供たちも加わり、清掃、遊具などの点検、樹木の手入れを行うことにしています。浜坂公園愛護会は、毎月第二日曜日を愛護デーと決め、活動を始め

ています。また、九月中旬には、愛護会連合会役員が全公園を施設、植樹の二部門で審査、管理の優秀な愛護会を表彰する予定です。各公園愛護会会長は次のみなきんです。◎は連合会副会長、○は同委員。

- 【修立】大倉幸雄（立川第二）岡本賢一（吉方）久松田村末男（西町）林繁夫（なかよし）○岡田昂（泉）西村貞夫（東町）【遷喬】寿春（相生第四）木原雷一（相生第五）【明德】岩崎寿雄（太平）魚町藤谷勝太郎（真教寺動物園）片上義完（花見）中原平造（瓦町）【城北】○渡辺喜好（城北）【浜坂】岡野泰（浜坂）【醇風】田中英龍（南町）鴨河俊治（寿）高垣鹿藏（三軒屋）○近藤一（二階町）池上和夫（本町）田中由夫（鹿野）富安岡本賢一（吉方南）○毛呂町福田功（玄好町）福本三郎（大森）○池本晃逸（材木町）石井隆夫（相生第一）○吉尾狗藏（相生南第一）安田健吉（富安）【末恒】第二）吉田実夫（相生第三）谷尾◎伊藤美作夫（美萩野）

同和問題 シリーズ



▷ 29

福田 花枝

初めは、出身を隠す

部落解放運動で救われる

丸岡忠雄が詩「ふるさと」の一節で「父は、ふるさとをかくすことを、獣のようになするときで覚えた」とうたったように、また、島崎藤村の「破戒」の丑松のように、私も部落を隠し続けて生きてきました。

私の歩んだ道

昭和三十四年の春、私は高校を卒業、五人の友達とともに大手電機会社の姫路工場に女子工員として就職し、社会への第一歩を踏み出しました。

目が微妙に変わって来ました。私はどうしようもない苦しさのあまり、わずかに一月で退社しました。ほんとうに残念なことです。そのころの私には耐えることができず、負けてしまったのです。それから、私は部落を隠し続ける生活を始めました。大和三山の

そばの八木町に一年、京都の洋裁店に一年と、部落を隠すことに精いっぱい毎日でした。が、どこまで行っても差別は追っかけてくるものであり、露骨に差別する人たちもいました。静かな京都の町にも、表面の美しさの陰に差別は厳しく生きていました。一緒に働く仲間が部落をさげすみ、何気なく話す一言一言は、部落を隠し続ける私の心を、ぐざりぐざりと刺したものでした。

京都の生活からも逃げて、明石の工場で再び寮生活をしました。九州や島根県の友達と心を寄せ合っただけで、ここでも部落を隠し通して来たのです。その上、私は、今もって自分自身を許せない行為をしていたのです。部落を隠し続けるために、差別をする人たちと一緒にあって、相づちを打って部落差別をしていたのです。

なぜ私がかここまで自分を偽り、逃げなければならぬのか、なぜこんなにも差別が厳しいのか、その理由も知らなかったのです。結婚して、鳥取に来て解放運動を知りました。隣保館に勤めることができて同和教育の大切さも知りました。差別のしくみを知り不合理、矛盾に憤りを感じるようになりまし。

私たち部落の人間は、自分自身をさげすみ、悲観するいわれはなかったのです。時の支配者が政策のため分裂支配を企てて、部落を利用し続け今日もなお、就職に結婚にその差別意識が社会に生き続

けていくことなのです。部落を避け、逃げて過ごそうとした私ですが、解放運動や同和問題を学ぶなかで、まず第一に救われたのは自分自身でした。詩「ふるさと」に「わが子よ、お前には胸はってふるさとを名のらせたい。なんのためらいもなく、これが私のふるさとですとなのらせたい」と、うたわれているように、私もこれからの子供には、私のように出身を隠すようなことをしないで、堂々と胸を張って、だれにでもはっきり語れる子供に育ってほしいと思います。差別に負けない強い子供、部落を解放していく子供を育てるためにも、正しい同和教育を推し進め、解放運動がみんなの手で進められれば、部落を隠す人もなくなり、部落の「完全解放」が達成されると信じています。

下味野、中央隣保館主事、39歳

募集

図柄を募集

市民ホールのどんちょう

締め切りは20日

旧県立中央病院跡地に建設中の市文化センター市民ホール（55年3月完成予定）のどんちょうの図柄を募集します。応募先は市教委社会教育課（高徳町116）。締め切りは9月20日（当日消印有効）。採用作品1点には賞金10万円を贈呈。

【応募資格】市内に住んでいる人

【作品基準】創作、未発表のもので、郷土の特色を生かし、20万都市を目指して前進する姿を象徴するのにふさわしいもの。

【応募方法】1人1点。ケント紙または画用紙に、縦32.5センチ、横75.0センチの大きさに描き、裏面に図柄の説明と住所、氏名、年齢、職業を記入してください。彩色は自由です。

中央乳幼児学級を新設

市教委は満1歳までの乳幼児を持っている母親を対象にして、新しく「中央乳幼児学級」を開講します。医師、保健婦、栄養士らが離乳食、かかりやすい病気、しつけなど、育児全般にわたり講義したり、相談に応じます。

10月から来年2月まで、月2回程度（午後1時30分～4時）、福祉文化会館で開講。定員は30人。受講料は500円です。

申し込みは、9月10日(月)～20日(木)に受講料を添えて中央公民館（福祉文化会館2階、☎23-9637）へ。

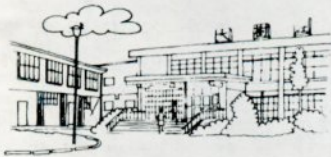
55年歌会始 お題『桜』

55年歌会始のお題は「桜」です。花木の桜ですが、花と詠むことはふさわしくありません。詠進期間は9月1日から10月11日（当日消印有効）まで。あて先は宮内庁式部職。

詳しくは市政室か、直接に宮内庁式部職（☎100・東京都千代田区千代田1番1号・切手をはった返信用封筒を添えて）へ9月30日までに問い合わせてください。

利用しましょう

湖山池湖畔「大樹荘」



お年寄りには特典

湖山池湖畔、金沢地内にある「大樹荘」は、体育館と作業棟を併設した市民の憩いと研修の施設で、宿泊できます。体育館にはゲートボール用具、機能回復訓練

ぼくのおばあさん



山本 秋枝さん
(国府町宮ノ下、64歳)

おまじない
(白兔保育所、5歳)

市制90周年記念

少年少女発明クラブ員を募集

対象は小学4年～中学3年

市制90周年記念行事として、市教委と発明協会県支部が子供たちに科学的な興味と関心を追求できる場を提供しよう、と新しく「少年少女発明クラブ」を10月から設けます。

小学4年生から中学3年生までの児童、生徒が対象で、工作活動を中心に来年3月まで、毎月2回程度開きます。

参加を希望する人は、9月10日(月)～20日(木)に児童会館（☎22-4318）へ申し込んでください。定員は30人。参加料はいりませんが、材料費、傷害保険料が必要です。

水害の届け出は土木課へ

9月は台風シーズンです。万一、道路、河川に被害が出たり、がけ崩れなどが起きたら、すぐに土木課へ連絡してください。

予約「新修鳥取市史」受け付け「昭和18年版市史」

「新修鳥取市史＝3巻」と昭和18年版「鳥取市史」復刻版の予約受け付けを行っています。申し込みは早めに法制室法制班へ。

「新修鳥取市史」の第1巻古代・中世篇と「鳥取市史」復刻版は現在、編集中です。価格はともに1部5000円（予定）。

10日まで 観光写真コンテスト

市制90周年記念産業まつり（9月29日～10月3日、市民体育館）で展示する観光写真のコンテストを行います。

題材 行事、名所旧跡など

サイズ 四切り判以上。白黒、カラーの別は問いません。

締め切り 9月10日(月)

送り先 高徳町116、市役所商工観光課

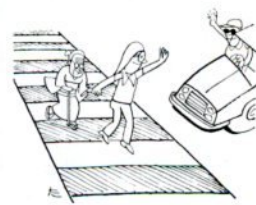
表彰 推薦1点、特選2点、準特選3点、入選10点、佳作10点

自衛官を採用中

申し込みは法制室法制班か、自衛

●隊鳥取地方連絡部（☎23-2251）へ

●21日～30日



老人を
交通事故から
守りましょう

秋の交通安全運動

歩こう会

歩こう会の9月例会は次の通りで、目的地は若桜。

昼食と水筒は持って行ってください。だれでも参加できます。…が歩行区間。

〔とき〕9月9日(日)〔コース〕集合・午前6時45分に鳥取駅北口→出発・同7時3分(若桜線)→若桜…弁財天神社…用品…丹比駅→鳥取駅(午後3時20分ごろ)

〔交通費は550円〕

11～15日 選挙人名簿の縦覧

市選挙管理委員会は9月1日現在で、次のどちらかに該当する人を調査して選挙人名簿に登録、11日から5日間、名簿の縦覧を行います。該当する人は登録もれになっていないか、縦覧で確認してください。

【該当者】①昭和34年9月2日までに生まれた人で、新しく選挙人名簿に登録される人②20歳以上の人で、54年6月1日までに転入届けを出して住民基本台帳に登録され、引き続き住んでいる人

【縦覧】日時＝9月11日(火)～15日(祝)の5日間、毎日午前8時30分～午後5時▷場所＝選挙事務局（市役所6階）

10日に下水処理場開放

9月10日は第19回全国下水道促進デーです。市は促進デーにちなんで次の行事を計画しています。気軽においでください。

【秋里下水処理場の開放】9月10日(月)午前9時30分～午後4時、秋里の下水終末処理場（城北浄苑）を開放します。

【排水設備器具の展示】玄好町ポンプ場玄関前広場に展示しています。いつでも見学できます。

健康 2

乳児検診

生後6カ月の乳児を対象に乳児検診を行います。お母さんが同伴できないときは、妊娠中や出産後の発育状態などがわかるようにしてください。(無料)

受ける人=昭和54年3月生まれの乳児
ところ=福祉文化会館
とき=午後1時~3時

検診日	校 区
9月18日(火)	神戸 美和 倉田 面影 東郷 大正 世紀 湖南 末恒 湖山 城北 賀露 浜坂 明治 米里 津ノ井
9月19日(水)	上記以外の校区

1歳6カ月児検診

1歳6カ月の幼児を対象に健康診査を行います。この時期は、おしゃべりや歩行など、精神的、運動的に確立するときです。この診査では、これらの遅れの発見や、このころから増え始める虫歯の予防など心身障害の発生防止のための検査、指導を行います。(無料)

受ける人=昭和53年3月生まれの幼児
ところ=福祉文化会館
とき=午後1時~3時

検診日	校 区
9月12日(水)	日進 明德 賀露 久松 醇風 遷喬 修立
9月13日(木)	浜坂 城北 湖山 稲葉山
9月14日(金)	上記以外の校区

3歳児健康診査

9月の3歳児健康診査は51年3月生まれの幼児を対象に行います。対象幼児のある家庭へは、9月20日ごろ、診査日時、場所を連絡しますので、受診させてください。

なお、連絡がない場合は、鳥取保健所(江津、県立中央病院隣、☎22-5161)へ問い合わせてください。(無料)

市民健康相談

次の日程(9月)で乳幼児と成人を対象に健康相談を行います。近くの会場で受けてください。担当は保健婦。【国安】6日、午前10時~正午、児童館で【馬場】6日、午後1時~3時、児童館で【古海、下味野】7日、午前10時~午後3時、各隣保館で【西品治】11日、午前10時~午後3時、隣保館で

成人病検診

5月1日に開設した市民健康センター(福祉文化会館2階)で成人病検診を行います。医師による診察のほか血圧、心電図、尿、血液比重、肥満度などの検査を実施します。定員は60人。申し込みは9月29日(土)までに厚生課保健衛生係へ。(無料)

対象 在宅市民
とき 10月9日(火)午後1時~3時

生ポリオワクチン投与

生ポリオワクチンの投与(第1回)を行います。第2回は11月26日~30日に実施します。母子手帳の予診票に必要事項を記入して持参してください。(無料)



受ける人=昭和54年1月1日~6月30日の出生児と、まだ投与を2回終わっていない生後48カ月までの乳幼児
とき=午後1時30分~2時30分
ところ=久松会館(北中隣)
受けてはいけない子=熱があったり下痢、

ガン検診

次の日程で胃ガン検診を行います。希望者は厚生課保健衛生係に申し込んでください。ただし、胃の切除手術をした人と妊婦は受診できません。(無料)
受付時間=午前8時30分~10時30分

地区	検診日	検診場所
面影	9月3日(月)	面影地区公民館
津ノ井	9月11日(火)	市農協津ノ井支所
湖山	9月12日(水)	湖山地区公民館
	9月13日(木)	
	10月1日(月)	
	10月2日(火)	

子宮ガンの受診申し込み(対象は30歳以上の人)はいつでも厚生課保健衛生係で受け付けています。(無料)

やさしのおじいさん



沢田 富市さん
(西品治、67歳)

やさしおっぴ
(高桑保育所、5歳)

第3日曜日 家庭の日

募集中
いなば墓苑
八坂地内(因幡霊場隣り)の市営墓地「いなば墓苑」の永代使用者を募集しています。
・1区画は約6平方メートル、永代使用料は約15万円です。申し込みは、環境課環境衛生係(秋里、下水終末処理場管理棟内)か、市民課の4番窓口(市役所1階)へ。

結核、重い心臓病にかかっている子、病後の衰弱児や栄養障害児、はしかの予防接種後1カ月以内の子、そのほか医師が投与を不適當と認めた子

校 区	投 与 日
	第 1 回
稲葉山 修正 津ノ井 米里 面影 大正 東郷	10月1日(月)
美保 倉田 明德 久松 美和 神戸	10月2日(火)
城北 湖山 末恒 富桑 賀露 浜坂	10月3日(水)
醇風 日進 湖南 遷喬 明治 世紀	10月4日(木)

相談

9、10月の法律相談

弁護士による法律相談を行っています。相続、遺産、土地の売買や登記、家族問題などで困っている人は利用してください。(無料)
【市政室担当】相談時間は午後1時~4時。相談場所は市民相談室(市役所1階)。申し込みは市政室広報広聴班へ。なお、9月の相談日はすでに満員となっています。

相談日 10月15日(月)

【市社会福祉協議会担当】相談時間は午前10時~午後3時。相談場所は市社福協内の心配ごと相談所(福祉文化会館1階)。申し込みは市社福協(☎24-3180)へ。

相談日 9月17日(月)
10月15日(月)

10日 合同相談所

家庭内のいざこざ、財産・人権問題、官公庁への苦情、そのほか困りごとのある人は、気軽に相談してください。(無料)
とき 9月10日(月)午前10時~午後3時
ところ 福祉文化会館3階
担当 鳥取行政監察局、鳥取地方法務局、国税局税務相談室、鳥取婦人少年室、市社会福祉協議会、鳥取市

冷蔵庫が電気を
食べ過ぎていませんか

冷蔵庫に食品を詰め込み過ぎていませんか。これは電気のむだ遣いの元です。また、直射日光が当たる所や、発熱源の近くでは冷蔵効果が下がります。ドアも度々開けると、それだけ庫内の空気が外気と入れ替わり、電気代がかかることとなります。



省エネルギーの知恵 ②

健康 ①

三種混合予防接種

ジフテリア・百日ぜき・破傷風



三種混合予防接種（ジフテリア、百日ぜき、破傷風）の第1期（3回接種）の1、2回目接種を次の日程で行います。対象児のある家庭は必ず受けさせてください。母子手帳は予診票に記入して持ってきてください。なお、3回目は10月26日～11月22日に実施（10月号に掲載）。（無料）

受ける人＝昭和51年9月1日～52年8月31日に生まれた幼児と、まだ接種を受けていない生後48カ月までの乳幼児

と き＝午後1時30分～2時30分

校 区	接 種 場 所	第 1 期	
		1 回	2 回
湖 山	湖山地区公民館	9月14日 (金)	10月5日 (金)
浜 坂	浜坂地区公民館		
稲葉山、遷喬	久松会館(北中隣)	9月17日 (月)	10月8日 (月)
大正、東郷	大正地区公民館		
明治、世紀	世紀小学校	9月18日 (火)	10月9日 (火)
神戸、美和	美和小学校		
倉 田	倉田隣保館	9月20日 (木)	10月11日 (木)
美保、醇風	久松会館(北中隣)		
末 恒	末恒地区公民館	9月21日 (金)	10月12日 (金)
富桑、城北 日進	久松会館(北中隣)		
面 影	面影地区公民館	9月25日 (火)	10月16日 (火)
湖 南	旧湖南地区公民館		
津ノ井、米里	津ノ井地区公民館		
久松、修立 明徳	久松会館(北中隣)	9月26日 (水)	10月17日 (水)
賀 露	賀露地区公民館	9月27日 (木)	10月25日 (木)

休日救急医療担当病院

県東部医師会は、休日に入院・治療をしなければならない重症救急患者のため、市内4病院の協力で「休日救急医療制度」を設けて、患者の受け入れを行っています。診療時間は午前8時30分から翌日同8時30分までです。

9月と10月初めの担当病院は次の通りです。

【9月】2日＝鳥取生協病院(☎24-7251、内・外科系)▷9日＝市立病院(☎23-6211、外科系)、県立中央病院(☎26-2271、内科系)▷15日＝鳥取赤十字病院(☎24-8111、内・外科系)▷16日＝市立病院(内科系)、中央病院(外科系)▷23日＝市立病院(外科系)、中央病院(内科系)▷24日＝赤十字病院(内・外科系)▷30日＝市立病院(内科系)、中央病院(外科系)【10月】7日＝生協病院(内・外科系)▷10日＝市立病院(外科系)、中央病院(内科系)

レントゲン間接撮影

15歳以上の市民（事業所、学校で定期検診を行う人は除く）を対象に、レントゲン間接撮影を行います。11月30日まで全市内を巡回して実施しますので、近くの会場で受けてください。妊婦は受診できません。（無料）

月日	場 所	時 間
9月3日(月)	越路選果場	9:30～9:50
	久末東入口	10:00～10:20
	古郡家入口	10:30～10:50
	美和入口	11:00～11:20
	東大路両川宅前	1:30～1:50
9月4日(火)	中大路公民館	2:00～2:20
	西大路公民館	2:30～2:50
	三山口公民館	9:30～9:50
	河内洞谷停留所	10:10～10:30
	中瀬田蔵	10:40～11:00
9月5日(水)	高殿入口	11:10～11:30
	農協大郷支所	1:30～1:50
	金沢公民館	2:00～2:20
	福井公民館	2:30～2:50
	中ノ茶屋公民館	9:30～9:50
9月6日(木)	伏野公民館	10:00～10:20
	松の聖母学園	10:30～10:50
	白兎公民館	11:00～11:20
	小沢見部落中央	1:30～1:50
	内海中作業場	2:00～2:20
9月7日(金)	御熊公民館	2:40～3:00
	三津公民館	3:10～3:30
	美萩野生活センター前	3:40～4:00
	堀越星見宅前	9:30～9:50
	大寺屋船越宅前	10:00～10:20
9月8日(土)	敬生寮	10:30～11:30
	新 田	1:30～1:50
	茶屋1区寺島商店前	2:00～2:20
	旧湖山地区公民館	2:30～2:50
	湖山地区公民館	3:00～3:20

休日在宅当番医

9月と10月初めの休日在宅当番医は次の通りです。診療時間は午後6時から9時まで。

と き	病 院 名	と ころ	でんわ
9月2日	星野医院	青葉町2丁目	22-5105
	岸田医院	立川町2丁目	22-4050
9月9日	吉田医院	瓦町	22-2434
9月15日	前田小児科医院	大工町頭	23-3670
	小橋医院	吉方町2丁目	22-2630
9月16日	早瀬医院	川端5丁目	23-3357
	小松内科	今町1丁目	22-4549
9月23日	谷口医院	南町	26-6611
	馬淵医院	材木町	22-5693
9月24日	坂本医院	元町	22-6612
	小田小児科医院	西町3丁目	23-3168
9月30日	米本内科	吉成	53-2631
	北室内科	西町1丁目	26-1433
10月7日	タムラ病院	瓦町	23-6701
	竹田内科医院	本町2丁目	22-4320
10月10日	ヤスタ内科医院	湯所町2丁目	23-0792
	山藤医院	大桜町	22-8431



国保料(第2期)

一の支払い月です

催しもの

〔市民会館〕 ☎24-9411

- 2日 花柳衛孝舞踊発表会
- 6日 県社会福祉大会
- 7日 鳥取演劇鑑賞会例会、前進座「さんしょう太夫」(有)
- 8、9日 54年度NHK全国学校音楽コンクール県大会
- 13日 ⑩県芸術文化祭開幕公演、民謡をあなたに(原田直之ほか)(有)
- 15日 ⑩市民文化祭参加、鳥取演劇集団第26回定期公演「真実ごっこ」(有)
- 17日 中国ブロック美容技術競技大会
- 20日 社会福祉推進慰安大会
- 21日 青少年劇場移動公演、劇団新児童「石の心臓」(有)
- 22日 ⑩BSSラジオ公開放送「ビバノヤングノ 岸田智史オータムコンサート」(整理券)
- 23日 第1回親と子の名作映画会「ロビンソン漂流記」ほか(有)
- 24日 金剛山歌劇団公演(有)
- 30日 都山流尺八、鳥取竹波会演奏会
- ※日 ⑩市制施行90周年記念式典
- ※日 大阪フィルハーモニー交響楽団演奏会(有)
- ※日 大久保一久・長瀬剛ジョイントコンサート(有)

〔福祉文化会館〕 ☎24-6766

- 1～3日 鳥取柳美会俳画展
- 2～4日 海南文化教室作品展示会
- 8、9日 未生流生け花展
- 4日 市民自治学園(鳥取市の行財政＝宮本市総務部長)
- 22、23日 正風遠州流因幡支部生け花展
- 26日 BSS進学懇談会
- 30～※日 ⑩市民文化祭参加、市民アトリエ群青展(洋画)

- ※～※日 ⑩市制90周年記念展「鳥取市90年の歩み」
- ※～※日 カスバリ編展示会
- ※日 市民自治学園(わたくしたちの福祉＝大住市福祉部長)
- ※～※日 ⑩市民文化祭参加、鳥取俳画草樹会展

〔市民体育館〕 ☎24-5222

- 2日 県社会人バドミントン大会
- 7日 市中学、高校新体操選手権
- 9日 県少年少女バレーボール大会
- 16日 市家庭婦人バレーボール選手権
- 23日 市民体育祭(卓球、バドミントン)
- 29～※日 ⑩産業まつり

〔県立博物館〕 ☎26-8042

- 15～24日 県美術展
- ～※は市制90周年記念行事。(有)は有料～